



今回は「**応急手当て**」です。

大規模地震が起きた場合、消防署に通報してもすぐに救助が来るとは限りません。適切な応急処置がその後の回復に大きく影響するといわれています。素早く的確に対応できるよう、準備をしておきましょう。

【常備しておきたい救急用品】

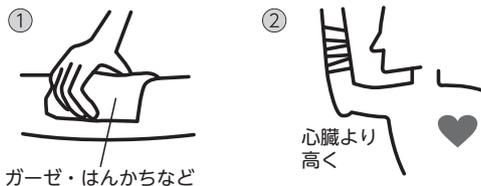
- ▷滅菌ガーゼ ▷ガーゼ止め用テープ
- ▷包帯 ▷ばんそうこう ▷三角巾
- ▷はさみ ▷とげ抜き ▷体温計
- ▷ピンセット ▷消毒薬 ▷総合感冒薬
- ▷解熱剤 ▷目薬 ▷整腸剤
- ▷マスク ▷スポーツドリンク など

持病があれば処方薬を切らさないようにし、お薬手帳も近くに置いておきましょう。

大地震で建物や家具などに体を挟まれてけがをするケースが多くあります。そこで覚えておきたい応急手当てが「止血法」です。体内を流れる血液は体重1kg当たり約80mlで、体重60kgの人の血液量は約5ℓです。そのうちの1/3に当たる約1.5ℓを急激に失うと、命の危険があるとされています。止血法の中でも簡単にできる「直接圧迫止血法」を覚えておきましょう。

【直接圧迫止血法】

- ①出血部分を厚く折り畳んだ清潔な布（滅菌ガーゼが望ましい）で抑え、その上から手で強く圧迫して止血します。
- ②包帯を強めに巻き、傷口を心臓よりも高くします。



ガーゼ・はんかちなど

手当てをするときは、感染症などを防ぐため、できるだけビニール袋やビニール手袋などを使用し、血液に直接触れないようにしてください。また、傷口を空気にできるだけ触れさせないようにするため、ガーゼに血液が染みてきたら、取り換えるのではなく上からガーゼを重ねましょう。

03 市政情報

年末・年始の業務案内
土岐市の家計簿を公表します
病院職員（薬剤師）募集／税金の障害者控除／市営住宅の入居者募集／五斗蒔スマートIC
市民ロードレース大会の結果／土岐市一周駅伝参加チーム募集／消防夜警・出初式

08 情報ひろば／消費生活相談／相談窓口

10 読書の小径

11 エコライフ／あのとときときは

12 ほほえみだより

13 健康ガイド

14 ときをつなぐもの／プラザイベントガイド

人口と世帯数〈11月末日現在〉（ ）内は前月比

総人口 61,474人(−49人)
男 29,729人(−35人) 女 31,745人(−14人)
世帯数 23,522戸(−18戸)

火災と救急出動〈11月〉（ ）内は1月からの累計

火災発生 2件(23件)
救急出動 170回(2,089回)
消すまでは 出ない行かない 離れない

交通事故〈11月〉（ ）内は1月からの累計

人身事故 20件(213件)
負傷者 27人(258人)
死亡者 0人(3人)
ゆうやけが きえないうちに ライトオン

今月の納税

固定資産税（第3期）

納期限 12月25日(火)

残高不足で口座振替・自動払込みができなかった場合の再振り替えは、平成25年1月15日(火)です。

☎ 税務課納税係（内線180・181）



防災無線が聞き取りにくい…
→メール配信サービスをご利用ください(要登録)
電話でも確認できます
テレフォンサービス ☎57713